

平成 28 年定例会

サミットを契機とした地域の総合力向上調査特別委員会

提出資料

- ・ポストサミット関連予算にかかる進捗状況一覧（資料 1） . . . 1
- ・ポストサミットの「レガシー」及び「取組結果と主な成果」一覧（参考） . . . 別添

平成 28 年 7 月 13 日

環境生活部

農林水産部

雇用経済部

教育委員会事務局

1 レガシーの項目:知名度等の向上

取組結果と主な成果 (詳細は別添のとおり)	取組の柱	部局名	事業名	予算区分	事業費 (千円)	事業概要	進捗状況 (今後の予定を含む)
1-1 首脳等による神宮訪問 1-2 情報発信	人と事業を呼び込む	雇用経済部	地域活性化 (観光活性化) ファンド組成事業	H28年度 当初	20,000	国内外からの観光客増加が見込まれる中、さらなるインバウンド需要の拡大を図るため、関係機関とともに地域活性化ファンドを組成し、当該ファンドを通じて、観光事業者がインバウンド需要へ対応するための施設整備などを進めるために要する長期資金について、資本金劣後ローン等の供給を行うことにより、地域の自立的・継続的な取組を支援します。	県内の地域金融機関、政府系金融機関、民間投資機関に対し、当事業の趣旨、県の考え方を説明しました。 今後は、ファンド設立に向けて、参加可能となる具体的な条件 (投資対象、規模等) やファンド運営方法等について意見交換のうえ、県においてファンド組成計画を策定し、政府系金融機関との協議を進めていきます。
			海外誘客推進プロジェクト 事業	H28年度 6月補正	46,667	伊勢志摩サミット開催の好機を生かし、さらなる外国人旅行者の誘致を図るため、富裕層・欧米市場・ゴルフツーリズムなどを対象とした新たな分野の取組を進め、これらの市場を本県の海外誘客における新たな分野として確立させます。さらに、リピーター確保につなげるため体験型・着地型観光の充実に取り組みます。	富裕層・欧米市場・ゴルフツーリズムなどを対象とし、主なものとしては下記内容の取組を予定しています。 ①富裕層・欧米からの誘客促進 ・富裕層向けリーフレット作成 ・欧州、台湾レップ (現地で営業活動を行う代理人) の設置 ・米国プロモーション、欧米メディア等招請 ②ゴルフツーリズムの促進 ・国際ゴルフツーリズム博覧会への出展 ・欧米、アジアゴルフエージェント・メディアの招請 ③受入環境高度化支援 ・着地型旅行商品・体験型滞在プログラム開発 ・欧州等 F I T 向け情報発信
			海外 M I C E 誘致促進事業	H28年度 6月補正	9,000	世界最高峰の国際会議である伊勢志摩サミット開催の経験と、欧米を中心に世界中に本県の知名度が高まった好機を生かし、国際会議等の M I C E 誘致を、本県のインバウンドの新たな分野として確立させるため、誘致にあたってのセールスツールの整備や国際会議開催に向けた県内の機運醸成などを行いながら、セールス・プロモーション活動を行います。	セールスツールのうち、M I C E 誘致促進補助金については、7月1日に適用 (交付申請受付開始) 済み。パンフレット及びホームページについては、県内の会議・宿泊施設の状況調査を始めており、今後事業執行の予定です。また、機運醸成のためのセミナーも同様に今後執行予定です。
			世界経済のリーダーを呼び 込む国際会議開催事業	—	—	伊勢志摩サミット開催により醸成された本県の国際的知名度を更に飛躍させ、本県を M I C E の開催地に選ばれる場所として一層進化させるとともに、本県経済の発展にもつなげていくため、世界経済等におけるリーダー等が参加するような国際会議の誘致に向けて取り組みます。	6月下旬に中国天津で開催された「Annual Meeting of the New Champions 2016」において、関係者に対して国際会議やフォーラム等の誘致を働きかけました。 今後も、誘致候補先からの情報収集等に努め、グローバル人材の育成にも資する国際会議の誘致に引き続き取り組みます。
1-2 情報発信	人と事業を呼び込む	農林水産部	みえの農林水産物の魅力総 合発信事業	H27年度 2月補正	18,421	伊勢志摩サミットを通じて注目が高まる県産農林水産物について、ブランド力を一層向上させ、消費者や事業者により強く訴求できるプレミアム食材となるよう、素材の磨き上げや、首都圏での情報発信に取り組みます。	・7月25日、26日に、丸の内シェフズクラブのシェフ等による県内農林水産物の産地等の視察を実施し、シェフと生産者との交流を図ります。 ・10~11月頃には、丸の内エリアで三重県フェアを開催する予定です。 ・東京の行幸通りで開催されている「丸の内マルシェ」に、県内農業者の出店を促していくこととしています。
		雇用経済部	グローバル創業支援事業	H27年度 2月補正	6,863	サミットを契機として、伊勢神宮をはじめとする三重の様々な資源により、本県が多様性を認める地域であると認知されることを踏まえ、産業・経済の多様化を目指して、創業・第二創業等を予定している若者、女性、U・I ターン者等 (予備軍) を対象に多様性のあるグローバル・スタートアップの創業を促進するためネットワーク化等を支援します。	スタートアップ予備軍等の発掘とネットワーク化を進める委託事業者を決定し、契約に向けた協議をしています。また、スタートアップ予備軍等を対象としたアドバイザー派遣など情報提供 (コンサルティング) 事業対象者の公募を実施しています。今後は、他事業による実態調査と連携して、スタートアップ予備軍等のネットワーク化を図るとともに、情報提供 (コンサルティング) 事業の対象事業者をモデル事例として情報提供を行い、起業マインドの醸成を進めます。

取組結果と主な成果 (詳細は別添のとおり)	取組の柱	部局名	事業名	予算区分	事業費 (千円)	事業概要	進捗状況(今後の予定を含む)
1-2 情報発信	人と事業を呼び込む	雇用経済部	外資系企業ワンストップサービス推進事業	H27年度 2月補正	5,493	伊勢志摩サミットを契機に、本県が安全で安心に活動できる地域として知名度が向上することや、県内ビジネス環境の特長、優位性を生かして、「外資系企業ワンストップサービス窓口」を設け、外資系企業のニーズに迅速に対応します。さらには、独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)と連携し、サミット参加国等の大使館を通じた誘致活動や海外での誘致活動及び情報発信に取り組みます。	平成28年4月1日付けで「外資系企業ワンストップサービス窓口」を設置しました。(専門職員(嘱託員)1名を採用するとともに、専用ダイヤルを設置) また、外資系企業の日本法人への誘致キャラバン(集中訪問)を実施し、県内への二次投資を促進するほか、独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)等との連携による誘致活動の一環として、平成28年度中に、JETROの現地スタッフ(ナショナルスタッフ)に対し、本県の操業環境等を情報発信します。 なお、企業誘致及び対日投資促進に係る関係機関が連携した誘致活動を展開し、外資系企業の三重県進出を“オール三重”で歓迎する仕組みづくりを行うために「三重県外資系企業誘致推進会議」(県内市町、金融機関、JETRO等が参画)を平成28年6月29日に立ち上げました。
			「みえの食」グローバル市場獲得推進事業	H28年度 当初	33,164	本県の食材や食文化に対する国内外からの注目や関心の高まり、インバウンド需要の拡大を踏まえ、「みえ国際展開に関する基本方針」に基づき、県内事業者の商品戦略の立案や海外への販路拡大に対する支援、食に関する多様な連携の推進や多言語情報発信の強化を行うことで、国内外への県産品の販路拡大につなげ、「みえの食」のブランドイメージの構築と認知度の向上を図り、グローバル市場の獲得を推進します。	台湾とタイに設置した現地アドバイザーを活用し、展示会出展の支援のほか、現地の市場動向等についてセミナーを開催しました。 今後は、県内事業者の海外営業活動への個別支援のほか、多様な連携推進のための専門家によるコーディネート活動や、商品戦略等の企画立案力向上のための研修、食のポータルサイト等における多言語の情報発信等を行います。
	成果を発展させる	農林水産部	みえの農林水産「八百万サミット」開催事業	H27年度 2月補正	4,690	伊勢志摩サミットを通じて注目が高まる県産農林水産物の魅力を発信していくため、G7サミットを開催した実績を生かし、さまざまな農林水産物の生産・加工・販売にこだわりをもつ主体を集めて行う各種の「サミット」を、県内で開催します。	(1)「第70回全国お茶まつり三重大会」については、鈴鹿市文化会館を主会場に開催することとしており、関連するイベントを含め、事業主体である三重県茶業会議所と連携し、準備を進めているところです。 (概要) ・第70回全国お茶まつり三重大会式典(12月10日)、第33回全国茶生産青年茶審査技術競技会および茶業青年の夕べ(12月9日) ・県内ショッピングモールや鈴鹿シティマラソンにおける伊勢茶消費拡大イベント (2)「農福連携全国サミット」については、三重県総合文化センターを主会場として、11月30日・12月1日に開催することを決定し、準備を進めています。 (概要) ・基調講演や先進事例の報告、パネルディスカッション ・農福連携マルシェ (3)牡蠣サミットについては、三重漁連と開催場所や日時、イベント内容などの検討を進めているところです。

2 レガシーの項目:会議自体の成果

取組結果と主な成果 (詳細は別添のとおり)	取組の柱	部局名	事業名	予算区分	事業費 (千円)	事業概要	進捗状況(今後の予定を含む)
2-2 議論された課題への対応	成果を発展させる	雇用経済部	みえの環境技術移転国際会議開催事業	H27年度 2月補正	10,000	ASEAN諸国の政府機関の幹部を招へいた国際会議を開催し、環境技術を生かした県内中小企業の海外展開を図るとともに、新興国における環境改善につなげていきます。	現在、年度内の開催に向けて関係機関と調整等を行い、開催日程、招へい国、テーマ等を検討しています。 各国政府幹部の招聘にあたっては、ASEAN諸国に多数の研修生OB・OGを有する公益財団法人国際環境技術移転センター(ICETT)や、本年2月に開催したASEAN環境フォーラム等により構築した駐日大使館とのネットワークを生かしていきます。 また、県内企業の現地視察や、交流・情報交換の機会等も併せて設けていくことを検討していきます。
	次世代に継承する	環境生活部	未来へつなぐグッドワーク・グッドライフ創造事業	H27年度 2月補正 H28年度 当初	57,348	G7伊勢志摩首脳宣言及び関連の成果文書を受け、STEM(科学、技術、工学、数学)分野のリケジョの取組や農業女子をはじめとする「あらゆる分野における女性の活躍」をテーマにした国際フォーラムを開催し、国内外への情報発信を行い、女性活躍推進の一大ムーブメントに繋がっていきます。また、女性が活躍するために重要な働き方改革につながるビジネスモデル構想を競う発表会の実施、優秀者への表彰や構想の具現化に向けての支援を行うことで、新しい働き方に繋がる「みえモデル」の創出を図ります。	7月12日の知事定例記者会見にて、国際フォーラムの概要とビジネスモデル構想発表会への参加者や当日ボランティアの募集、専用サイトの開設等を発表しました。フォーラムは、9月23、24日の2日間にわたり、鈴鹿サーキットで開催することとしていますが、登壇者等については現在調整中です。

3 レガシーの項目:地域の総合力の向上

取組結果と主な成果 (詳細は別添のとおり)	取組の柱	部局名	事業名	予算区分	事業費 (千円)	事業概要	進捗状況 (今後の予定を含む)
3-1 県民の皆様の大活躍 3-2 次世代を担う子ども・若者の大活躍	成果を発展させる	雇用経済部	世界に開かれた魅力ある三重づくり促進プログラム事業	県民会議 予算	2,000	「伊勢志摩サミットメモリアルデー」の創設を検討するなど、国際交流の促進のための仕組みづくりに取り組みます。	県内在住外国人や留学生、国際交流団体、県民ボランティアが主体的に取り組めるような国際交流イベントなどの創設に向けて、調整していきます。 具体的には、県内の市町、大学、国際交流団体、企業など関係者からの意見聴取や他府県等における国際交流イベントの優良事例調査などを行っていく予定です。
3-1 県民の皆様の大活躍 3-3 研修等によるおもてなし力の向上	人と事業を呼び込む	雇用経済部	地域活性化(観光活性化)ファンド組成事業(再掲)	H28年度 当初	20,000	国内外からの観光客増加が見込まれる中、さらなるインバウンド需要の拡大を図るため、関係機関とともに地域活性化ファンドを組成し、当該ファンドを通じて、観光事業者がインバウンド需要へ対応するための施設整備などを進めるために要する長期資金について、資本性劣後ローン等の供給を行うことにより、地域の自立的・継続的な取組を支援します。	県内の地域金融機関、政府系金融機関、民間投資機関に対し、当事業の趣旨、県の考え方を説明しました。 今後は、ファンド設立に向けて、参加可能となる具体的な条件(投資対象、規模等)やファンド運営方法等について意見交換のうえ、県においてファンド組成計画を策定し、政府系金融機関との協議を進めていきます。
			三重県版バリアフリー観光促進事業	—	— (既存予算 で対応)	バリアフリー観光の対象を外国人にも拡大し、案内表示の絵文字(ピクトグラム)による非言語化の検討、バリアフリー観光セミナー、バリアフリー観光コンシェルジュ研修の実施等で、旅行者にやさしい観光地の実現を図ります。	特定非営利活動法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンターと契約し、下記内容で事業執行を予定しています。 ・バリアフリー観光セミナー 1回以上 ・バリアフリー観光コンシェルジュ研修 2回 ・バリアフリー観光調査&アドバイス 20件 ・絵文字(ピクトグラム)の導入にかかる調査・検討
3-2 次世代を担う子ども・若者の大活躍	人と事業を呼び込む	雇用経済部	グローバル創業支援事業(再掲)	H27年度 2月補正	6,863	サミットを契機として、伊勢神宮をはじめとする三重の様々な資源により、本県が多様性を認める地域であると認知されることを踏まえ、産業・経済の多様化を目指して、創業・第二創業等を予定している若者、女性、U・Iターン者等(予備軍)を対象に多様性のあるグローバル・スタートアップの創業を促進するためネットワーク化等を支援します。	スタートアップ予備軍等の発掘とネットワーク化を進める委託事業者を決定し、契約に向けた協議をしています。また、スタートアップ予備軍等を対象としたアドバイザー派遣など情報提供(コンサルティング)事業対象者の公募を実施しています。今後は、他事業による実態調査と連携して、スタートアップ予備軍等のネットワーク化を図るとともに、情報提供(コンサルティング)事業の対象事業者をモデル事例として情報提供を行い、起業マインドの醸成を進めます。
	次世代に継承する	雇用経済部 (伊勢志摩サミット三重県民会議)	大学生・留学生との交流事業	県民会議 予算	10,239	サミットの開催成果を確かな資産として「明日へつなぐ」ため、県外大学生や留学生が三重に集い、県内大学生や留学生と共に、サミットに係るテーマ等について討議を行う大学生版のサミットを開催します。	8月31日～9月3日の3泊4日で、伊勢市及び南伊勢町にて開催するため、共催者や受入自治体等と調整を図っています。
		教育委員会	三重県高校生サミット開催事業	県民会議 予算	2,538	県内の高校生やジュニア・サミット参加者等が、ジュニア・サミットのテーマ等に関する意見交換等を実施する「三重の高校生サミット」を開催します。	6月5日、6月12日に、県内の高校生やジュニア・サミット参加者等が、ジュニア・サミットのテーマ等に関する意見交換等を実施しました。 (参加者:延べ148名) 「次世代の地球に対する若者の提言」を全体テーマとし、ジュニア・サミット及び体験・交流行事参加者の体験報告が行われ、その成果を共有するとともに、テーマに基づき、ディスカッションを行い、提言の作成・発表を行いました。
3-3 研修等によるおもてなし力の向上 3-5 訪日外国人等への対応	人と事業を呼び込む	雇用経済部	海外MICE誘致促進事業(再掲)	H28年度 6月補正	9,000	世界最高峰の国際会議である伊勢志摩サミット開催の経験と、欧米を中心に世界中に本県の知名度が高まった好機を活かし、国際会議等のMICE誘致を、本県のインバウンドの新たな分野として確立させるため、誘致にあたってのセールスツールの整備や国際会議開催に向けた県内の機運醸成などを行いながら、セールス・プロモーション活動を行います。	セールスツールのうち、MICE誘致促進補助金については、7月1日に適用(交付申請受付開始)済み。パンフレット及びホームページについては、県内の会議・宿泊施設の状況調査を始めており、今後事業執行の予定です。また、機運醸成のためのセミナーも同様に今後執行予定です。

取組結果と主な成果 (詳細は別添のとおり)	取組の柱	部局名	事業名	予算区分	事業費 (千円)	事業概要	進捗状況(今後の予定を含む)
3-4 障がい者の活躍 在日外国人の活躍 外国人向けの情報発信	成果を発展させる	農林水産部	みえの農林水産「八百万サミット」開催事業 (再掲)	H27年度 2月補正	4,690	伊勢志摩サミットを通じて注目が高まる県産農林水産物の魅力を発信していくため、G7サミットを開催した実績を生かし、さまざまな農林水産物の生産・加工・販売にこだわりをもつ主体を集めて行う各種の「サミット」を、県内で開催します。	(1)「第70回全国お茶まつり三重大会」については、鈴鹿市文化会館を主会場に開催することとしており、関連するイベントを含め、事業主体である三重県茶業会議所と連携し、準備を進めているところです。 (概要) ・第70回全国お茶まつり三重大会式典(12月10日)、第33回全国茶生産青年茶審査技術競技会および茶業青年の夕べ(12月9日) ・県内ショッピングモールや鈴鹿シティマラソンにおける伊勢茶消費拡大イベント (2)「農福連携全国サミット」については、三重県総合文化センターを主会場として、11月30日・12月1日に開催することを決定し、準備を進めています。 (概要) ・基調講演や先進事例の報告、パネルディスカッション ・農福連携マルシェ (3)牡蠣サミットについては、三重漁連と開催場所や日時、イベント内容などの検討を進めているところです。
	次世代に継承する	環境生活部	未来へつなぐグッドワーク・グッドライフ創造事業 (再掲)	H27年度 2月補正 H28年度 当初	57,348	G7伊勢志摩首脳宣言及び関連の成果文書を受け、STEM(科学、技術、工学、数学)分野のリケジョの取組や農業女子をはじめとする「あらゆる分野における女性の活躍」をテーマにした国際フォーラムを開催し、国内外への情報発信を行い、女性活躍推進の一大ムーブメントに繋がっていきます。また、女性が活躍するために重要な働き方改革につながるビジネスモデル構築を競う発表会の実施、優秀者への表彰や構想の具現化に向けての支援を行うことで、新しい働き方に繋がる「みえモデル」の創出を図ります。	7月12日の知事定例記者会見にて、国際フォーラムの概要とビジネスモデル構築発表会への参加者や当日ボランティアの募集、専用サイトの開設等を発表しました。フォーラムは、9月23、24日の2日間にわたり、鈴鹿サーキットで開催することとしていますが、登壇者等については現在調整中です。
3-5 訪日外国人等への対応	人と事業を呼び込む	雇用経済部	海外誘客推進プロジェクト 事業 (再掲)	H28年度 6月補正	46,667	伊勢志摩サミット開催の好機を生かし、さらなる外国人旅行者の誘致を図るため、富裕層・欧米市場・ゴルフツーリズムなどを対象とした新たな分野の取組を進め、これらの市場を本県の海外誘客における新たな分野として確立させます。さらに、リピーター確保につなげるため体験型・着地型観光の充実に取り組みます。	富裕層・欧米市場・ゴルフツーリズムなどを対象とし、主なものとしては下記内容の取組を予定しています。 ①富裕層・欧米からの誘客促進 ・富裕層向けリーフレット作成 ・欧州、台湾レップ(現地で営業活動を行う代理人)の設置 ・米国プロモーション、欧米メディア等招請 ②ゴルフツーリズムの促進 ・国際ゴルフツーリズム博覧会への出展 ・欧米、アジアゴルフエージェント・メディアの招請 ③受入環境高度化支援 ・着地型旅行商品・体験型滞在プログラム開発 ・欧州等FIT向け情報発信
3-6 官民協働による安全・安心の取組	成果を発展させる	環境生活部	安全安心まちづくり事業 (一部)	H28年度 当初	1,000	安全・安心な社会にとっての新たな脅威となりつつある諸問題に総合的・横断的に対応するため、「犯罪から県民を守るアクションプログラム(仮称)」の策定を進めます。	6月21日に開催された環境生活農林水産常任委員会において、左記プログラムの骨子案を提出しました。 今後、10月に中間案、12月に最終案を同常任委員会に提出し、来年1月をめどに策定・公表する予定です。

ポストサミットの「レガシー」及び「取組結果と主な成果」一覧

レガシーの項目		取組結果(●)と主な成果(⇒)	
知名度等の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・三重及び伊勢志摩の知名度向上や評価・関心の高まり ・県民と海外・世界との距離が縮まること 	1-1	<ul style="list-style-type: none"> ●首脳等による神宮訪問 ⇒ 世界の巡礼地等に匹敵するような、世界中から人が訪れる場所へ
		1-2	<ul style="list-style-type: none"> ●情報発信 ⇒ 伊勢志摩・三重県の知名度向上、商品開発や販路開拓等による新たなビジネスチャンスへ
会議自体の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・宣言、方針、共同声明や、それらに基づく計画、取組等 	2-1	<ul style="list-style-type: none"> ●伊勢志摩の名を冠した首脳宣言等 ⇒ 伊勢志摩・三重県の知名度向上へ
		2-2	<ul style="list-style-type: none"> ●議論された課題への対応 ⇒ 世界的な課題への県施策によるアプローチへ
地域の総合力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・県民や地域の一体感の醸成 ・郷土に対する愛着や誇りの高まり ・地域に対する理解深化、地域のネットワーク強化 ・アクティブ・シチズンの増加 	3-1	<ul style="list-style-type: none"> ●県民の皆様の大活躍 ⇒ 地域の一体感の醸成、郷土に対する愛着や誇りの高まり、地域をより良くしようとする意欲の醸成へ
		3-2	<ul style="list-style-type: none"> ●次世代を担う子ども・若者の大活躍 ⇒ 地域をより良くしようとする意欲の醸成、郷土に対する愛着や誇りの高まり、グローバル教育の推進、グローバル人材の育成へ
	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしの力の向上 	3-3	<ul style="list-style-type: none"> ●研修等によるおもてなし力の向上 ⇒ 国際観光地としてのレベルアップ
		<ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティの視点による地域の深化 	3-4
	3-5		<ul style="list-style-type: none"> ●訪日外国人等への対応 ⇒ 訪日外国人旅行者の誘致へ
	<ul style="list-style-type: none"> ・県民力で「安全・安心」に取り組んだ経験 	3-6	<ul style="list-style-type: none"> ●官民協働による安全・安心の取組 ⇒ 今後の安全・安心なまちづくりへ
		3-7	<ul style="list-style-type: none"> ●防災・危機対策委員会の取組 ⇒ 地震・津波対策の一層の充実、今回の経験を次のMICE開催へ
		3-8	<ul style="list-style-type: none"> ●保健・医療対策委員会の取組 ⇒ 今回の経験を次のMICE開催へ